

2018-19年度国際第3副会長候補者

*名字のアルファベット順に掲載



パトリシア パティ、ヒル Patricia "Patti" Hill

パティ・ヒル（カナダ・エドモントン）は心理学者で、エドモントン・ホストライオンズクラブ会員。2007～09年国際理事で、リーダーシップ委員会委員長を務めた。USA/カナダ・ライオンズ・リーダーシップ・フォーラムの計画委員会メンバー、視力ファーストIIキャンペーンの多国間コーディネーターを歴任し、数々のフォーラム及び国際大会で研修会講師メンバーやプレゼンターを務めた。累進MJFであり、インスパイアリング・ウーマン賞を受賞し、多数の職業団体や地域団体でも活躍している。



ソムサクディ・ロビス Somsakdi Lovisuth

ソムサクディ・ロビス（タイ・バンコク）は、2004～2006年の国際理事を務めた。輸出入業に従事し、1986年からバンコク・コスモポリタンライオンズクラブの会員。クラブ会長、リジョン・チェアパーソン、ゾーン・チェアパーソン、青少年交換委員長、地区ガバナーを含むさまざまな役職を歴任。MJFであり、100%地区ガバナー賞、親善大使賞を含む多数の賞を受賞している。



サリム・ムッサン Salim Moussan

サリム・ムッサン（レバノン・ベイルート）は元実業家で、ベイルート・セントガブリエルライオンズクラブ会員。1997～1999年国際理事、国際理事会アポインTEEを2回、地区ガバナー・エレクト・セミナーのグループ・リーダーを2回、数回の指導力フォーラムの委員長を歴任。3カ国語に堪能で94カ国を訪問、国際大会に連続30回、78のエリア・フォーラム、50以上の地域会議に出席。数々のライオンズ・アワードを受賞し、レバノン国家功労勲章を授与されている。

2018-19年度国際第3副会長候補者

*名字のアルファベット順に掲載



ファブリシオ・オリヴェイラ Fabricio Oliveira

ファブリシオ・オリヴェイラ（ブラジル・カトリードローシャ）は、2006～2008年国際理事を務めた。実業家及び企業経営者で、1985年からカトリードローシャライオンズクラブの会員。累進MJFであり、グローバル・ビジョン・メダル賞、親善大使賞、11回の国際会長賞を受賞。地区ガバナー・エレクト・セミナーのグループ・リーダーを2回務め、多数の職業団体や地域団体でも活躍。会則地域3でこれまでに3回の推薦を受けている。



ブライアン・E・シーハン Brian E. Sheehan

ブライアン・E・シーハン（アメリカ・ミネソタ州バードアイランド）は、2011～2013年国際理事、2014-2015年度国際理事会アポイントイーを務めた。ソフトウェア開発会社ルーラル・コンピューター・コンサルタントの創設者及びCEOで、多数の職業団体や地域団体でも活躍。累進MJFであり、6回の国際会長賞、親善大使賞を含む多数の賞を受賞している。また、LCIF執行委員、財務及び運営委員会委員長、会則及び付則委員会委員長、GLTエリアリーダーを含む多数の役職を務め、USA/カナダ・ライオンズ・リーダーシップ・フォーラムを含むさまざまなライオンズの行事に出席している。地区ガバナー・エレクト・セミナーのグループリーダーを何度も務め、ALLI、ELLI、RLLIの講師でもある。



ウォルター・R “バド” ウォール Walter R. “Bud” Wahl

ウォルター・R “バド” ウォール（アメリカ・イリノイ州ストリーター）は、2003～2005年国際理事を務めた。医療分野の元リスク・マネージャー及びコーディネーターであり、ストリーター・ハードスクラブルライオンズクラブのチャーター・メンバー。累進MJFであり、多数の職業団体や地域団体でも活躍。2011年USA/カナダ・ライオンズ・リーダーシップ・フォーラムの委員長や視力ファースト・キャンペーンのナショナル・コーディネーター、2012年選挙委員会委員長を歴任し、国内外のセミナーでプレゼンターを務めている。